

医療・介護・福祉事業所の 減災とBCP

～事業継続計画 私たちの場合 第七報～

医療法人社団 幹人会

(法人本部事務課長) 夏海 啓

(法人本部統括部長) 大塚恵利子

(老健“ユニット菜の花”施設長) 長瀬 敬

(老健“菜の花”施設長) 小室 勝利

(施設管理担当理事) 和田 省三

(法人統括常務理事) 玉木 千鶴

(理事長) 玉木 一弘

【演題発表に関連し、開示すべき利益相反(COI)関係にある企業などはありません。】

BCP(事業継続計画)とは？

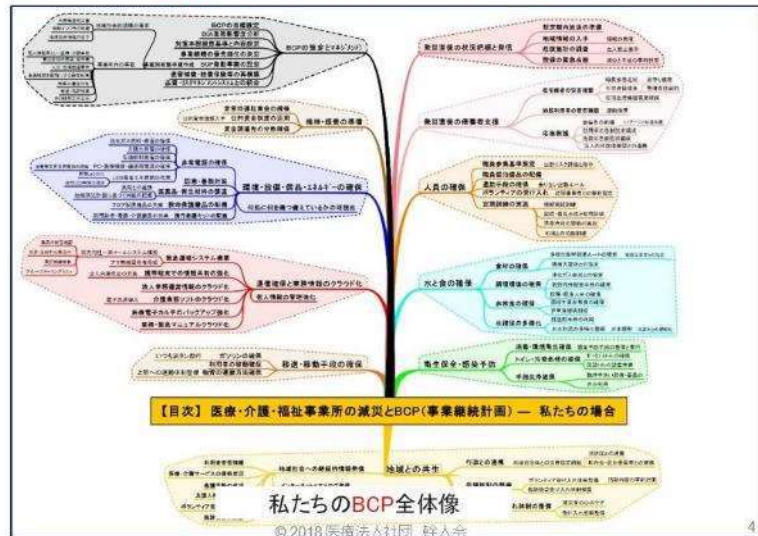
大災害・パンデミック感染・大事故等々、事業の継続的提供を脅かす危機事案に備え、被害を最小限に抑え、必要な業務が継続できるよう、事前に定めておく計画のことです。

西多摩

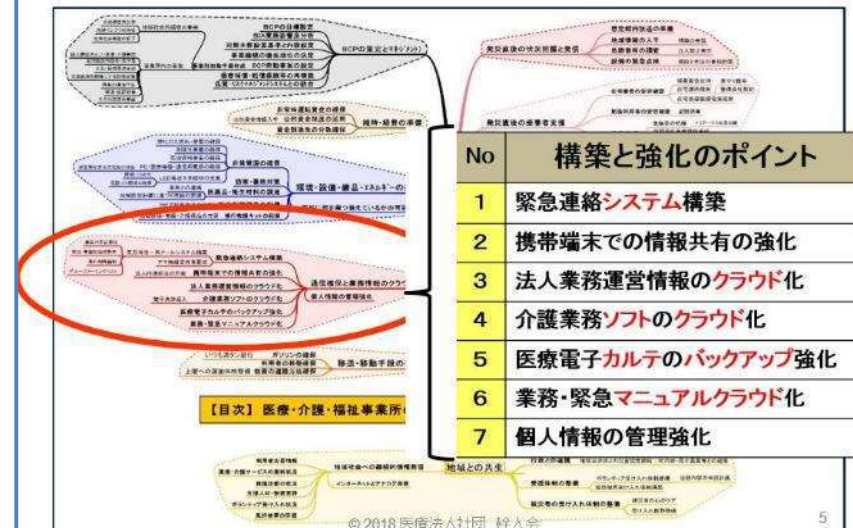


これまでの取り組み

・**第一報(2012年)** 東日本大震災の経験から、私たちの現場に即したBCPの策定と訓練課程を報告。



・**第二報(2013年)** 携帯端末とクラウドサーバーの利用による災害時にも堅牢な情報システムの構築と運用について報告。



・**第三報(2014年)** 2014年2月の大雪による被害を経験し、想定外の危機事案を含めたBCPの見直し並びに、24時間体制でのBCP発動のための、絶え間ない指示命令系統の確立についての報告。



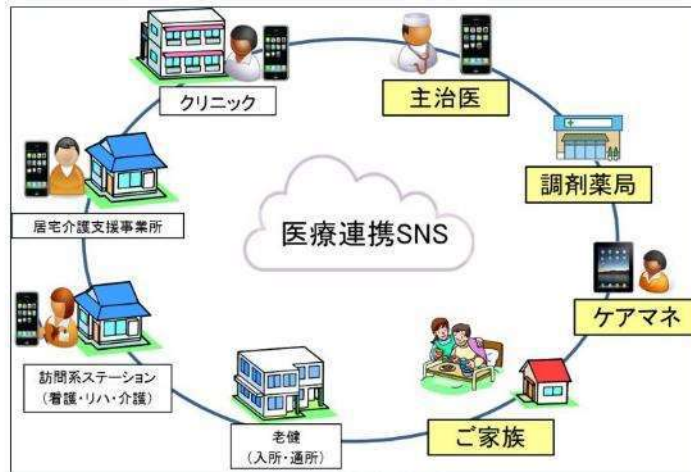
第一報(2012年) 第23回沖縄県大会
震災の経験から、現場に即したBCP作成

第二報(2013年) 第24回石川県大会
携帯端末とクラウドによる災害時にも堅牢なシステム構築

第三報(2014年) 第25回岩手県大会
大雪の経験から想定外の危機事案見直しと24時間体制での指示命令系統確立

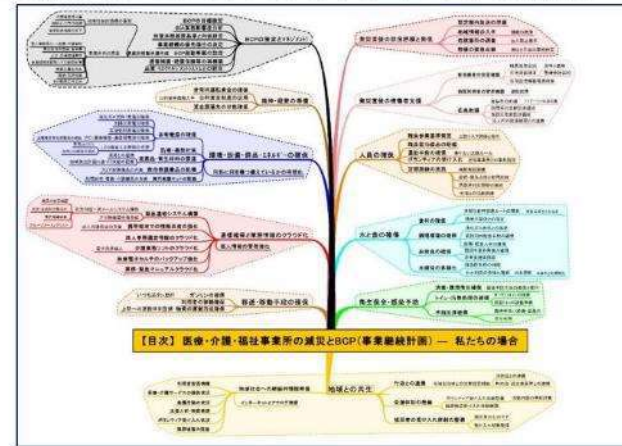
これまでの取り組み

・**第四報(2015年)** 地域との共生に主眼を置き、**情報通信技術(ICT)**を積極的に活用することで、家族や行政機関と平時はもとより、緊急時にも有効な連携体制の強化に繋げ報告。



© 2018 医療法人社団 幹人会

・**第五報(2016年)** 2013年1月に地域自治体との**災害協定**を締結して以来、これまで地域社会との共生に力を入れてきたが、自治体や病院及び介護施設が協働して2016年10月に図上訓練を実施するに至ったので、それまでの過程を報告。



© 2018 医療法人社団 幹人会

・第六報(2017年)

2016年10月に、地域自治体と社会福祉協議会、市内の病院及び介護施設が協働して、**要配慮者**の中の**高齢者**の受入に関する共同図上訓練を実施することができたので、実施の様子とその結果を報告。



平成 28 年度 相模原市緑区高齢者受け入れ図上訓練		
開催日時：平成 28 年 12 月 17 日(日) 13:00~17:00		
場 所：相模原市緑区(仮)センター 大ホール(3F)		
参加人数：6 名		
午後の図上訓練(10:00~11:00)		
時間	内容	担当
10:00~10:45	開会挨拶	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
10:45~11:00	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
11:00~11:15	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
11:15~11:30	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
11:30~11:45	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
11:45~12:00	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
12:00~12:15	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
12:15~12:30	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
12:30~12:45	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
12:45~13:00	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
13:00~13:15	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
13:15~13:30	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
13:30~13:45	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
13:45~14:00	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
14:00~14:15	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
14:15~14:30	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
14:30~14:45	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
14:45~15:00	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
15:00~15:15	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
15:15~15:30	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
15:30~15:45	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
15:45~16:00	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
16:00~16:15	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
16:15~16:30	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
16:30~16:45	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一
16:45~17:00	図上訓練	相模原市緑区 高齢者福祉課 長官 山本 隆一

注)要配慮者:高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する者

© 2018 医療法人社団 幹人会

第四報(2015年) 第26回神奈川県大会
ICTを活用し、家族や行政との平時からの
連携体制の強化

第五報(2016年) 第27回大阪府大会
自治体、病院、介護施設との共同訓練準備

第六報(2017年) 第28回愛媛県大会
自治体、病院、介護施設との共同訓練報告

・第七報では

2017年に、自施設のインフラの老朽化による損害が発生。
この経験を検証し、チェック体制をシステム化しインフラの
老朽化等による被害＝インフラ災害に対応したBCPを作成し、
リスクマネジメントに結びつけたので報告する。

＜インフラ老朽化の現状＞

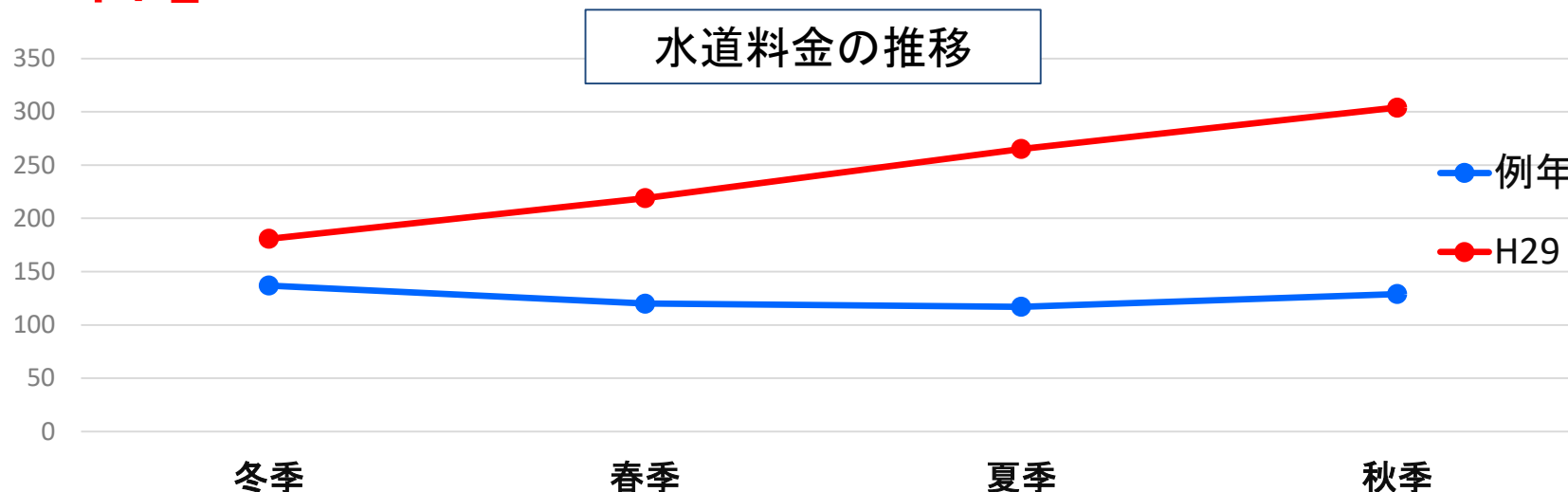
我が国のインフラの災害対策を進める国土強靱(きょうじん)化計画では、自然災害対策と合わせた取り組みをすべきとの意見が出され、自然災害とインフラ災害を一体的に扱う方向性が見えてくる。

◆対策例

下水道による浸水対策、電柱の地中化、防潮堤整備、2019年度の手厚い予算編成etc

建物・設備点検シート				点検日	年	月	日
建物名称		介護老人保健施設葉の花		点検者			
調査箇所	項目	支障 無し	不具 合	対応・場所・状況			
建物内部 ※毎月実施	光熱水費	電気の使用量が前月と比べ著しく増加していないか(請求書)	☐	☐	確認しましょう。		
		ガスの使用量が前月と比べ著しく増加していないか(請求書)	☐	☐	確認しましょう。		
		水道の使用量が前月と比べ著しく増加していないか(請求・メーター)	☐	☐	確認しましょう。		
	天井・内壁	亀裂・はがれ・破損はないか	☐	☐			
		漏水やカビ等はないか	☐	☐			
	窓・扉	亀裂・破損はないか	☐	☐			
		閉めた状態での隙間や反りはないか	☐	☐			
		施錠が確実にできるか	☐	☐			
	階段・床	床面に段差はないか	☐	☐			
		手すりのぐらつきはないか	☐	☐	現場職員に聞いてみましょう。		
	洗面所等	給水栓や排水管からの水漏れはないか	☐	☐			
		水は完全に止まるか	☐	☐			
		赤水は出ていないか	☐	☐			
	トイレ	便器・洗浄管からの水漏れはないか	☐	☐			
		ナースコールは動作するか	☐	☐			
手すりのぐらつきはないか		☐	☐				
コンセント	器具・プレートに著しい変形・破損はないか	☐	☐				
	器具・プレートに著しいぐらつきはないか	☐	☐				
	使用時に異臭、発煙はないか	☐	☐	使用を中止、報告しましょう。			
	コンセント周辺にほこりがたまっていないか	☐	☐	清掃しましょう。			
屋上・	排水溝に枯れ葉や土が堆積していないか	☐	☐	清掃しましょう。			
	雨どいがつまっていないか	☐	☐	清掃しましょう。			

【内容】



指定給水装置
工事事業者の
対応が遅れ、
調査開始
までに
数か月を要す



トイレからの漏水
と断定したが
収まらず、
再調査の結果、
厨房と判明し
修理後改善した

終息までに時間を要したため、多額の水道代を支払うことに

【リスクマネジメントへ繋げる方法】

目標設定

この損害を教訓に、建物や設備の不具合を早期に発見し、事故防止やインフラを安全に長期利用するためのリスクマネジメントができるマニュアル作りを目指すことに。

意義を 明確化

その意義は、早期発見のために複数職員によるリスクマネジメントを行い、叡知を出し合い情報共有することで被害を最小限に抑えることにある。

検討・作成

注視すべき点や点検時の行動を、法人本部と建物管理者で検討し、マニュアル化と同時に「建物・設備点検シート」を作成。



【結果】

点検方法

建物の内部と外部に分け、更に毎月実施する箇所と年1回実施する箇所に分けた。
毎月の実施は、施設の労働安全衛生委員会が担う。

メリット

毎月別の職員が行うことで、先入観やおざなりになることを防ぎ、普段見落としがちな清掃確認箇所に目を向けることで恒久的な設備利用に有用となる。

臨時点検

台風の前や地震の後などに臨時点検を設定。
その時々状況を迅速に判断して早期に対応することをマニュアル化した。



考察・結論

労働安全衛生委員会の巡視を、インフラ点検活動の拠点としたことで、多くの職員が施設建物管理者と共に点検を行いこれまで知ることがなかった建物や設備のしくみやウィークポイント(弱み)を知ることとなり、日常業務の上でも新たな気づきが期待できる。



建物・設備点検シート

建物名称		点検日	年	月	日
介護老人保健施設 花		点検者			
調査箇所	項目	支障 無し	不具 合	対応・場所・状況	
建物内部 ※毎月実施	光熱水費	電気の使用量が前月と比べ著しく増加していないか(請求書)	☐	☐	確認しましょう。
		ガスの使用量が前月と比べ著しく増加していないか(請求書)	☐	☐	確認しましょう。
		水道の使用量が前月と比べ著しく増加していないか(請求・メーター)	☐	☐	確認しましょう。
	天井	亀裂・はがれ・破損はないか	☐	☐	
		漏水やカビ等はないか	☐	☐	
	窓・扉	亀裂・破損はないか	☐	☐	
		閉めた状態で隙間や反りはないか	☐	☐	
		施錠が確実にできるか	☐	☐	
	階段・	床面に段差はないか	☐	☐	
		手すりのぐらつきはないか	☐	☐	現場職員に聞いてみましょう。
	洗面所等	給水栓や排水管からの水漏れはないか	☐	☐	
		水は完全に止まるか	☐	☐	
		赤水は出ていないか	☐	☐	
	トイレ	便器・洗浄管からの水漏れはないか	☐	☐	
		ナースコールは動作するか	☐	☐	
		手すりのぐらつきはないか	☐	☐	
	コンセント	器具・プレートに著しい変形・破損はないか	☐	☐	
		器具・プレートに著しいぐらつきはないか	☐	☐	
		使用時に異臭、発煙はないか	☐	☐	使用を中止、報告しましょう。
		コンセント周辺にほこりがたまっていないか	☐	☐	清掃しましょう。
建物外部 ※毎年9月実施	屋上・ベランダ	排水溝に枯れ葉や土が堆積していないか	☐	☐	清掃しましょう。
		雨どいがつまっていないか	☐	☐	清掃しましょう。
		亀裂・はがれ・浮き・変形などはないか	☐	☐	
		太陽光パネルに破損または亀裂がないか	☐	☐	
	外壁	亀裂・破損・はがれなどはないか	☐	☐	
		鉄筋の露出やサビが発生していないか	☐	☐	
	地盤	陥没または隆起がないか	☐	☐	
	ホール	破損または亀裂がないか	☐	☐	
		蓋が正常に納まっているか	☐	☐	清掃し、正常に納めましょう。
	側溝	土や枯れ葉が堆積していないか	☐	☐	泥上げ、清掃をしましょう。
		蓋に破損または亀裂がないか	☐	☐	
		蓋が正常に納まっているか	☐	☐	
受水槽	電波塔	取付金具の破損・腐食はないか	☐	☐	
		電波塔の固定は十分か	☐	☐	
		水槽本体や配管からの水漏れはないか	☐	☐	
		水槽本体の破損や架台の傾きはないか	☐	☐	
		水槽周辺の床面が濡れていないか	☐	☐	
		水槽の蓋は施錠されているか	☐	☐	施錠しましょう。
		ポンプから異常な音や振動はないか	☐	☐	

考察・結論

あらゆる複数の職員が常に施設の維持管理に目を向け、施設建物管理者と共に行動することで、マネジメント側と労働者側が一体化したリスクマネジメントを継続的かつ恒久的に実現できると考えられた。

ア 光熱水費

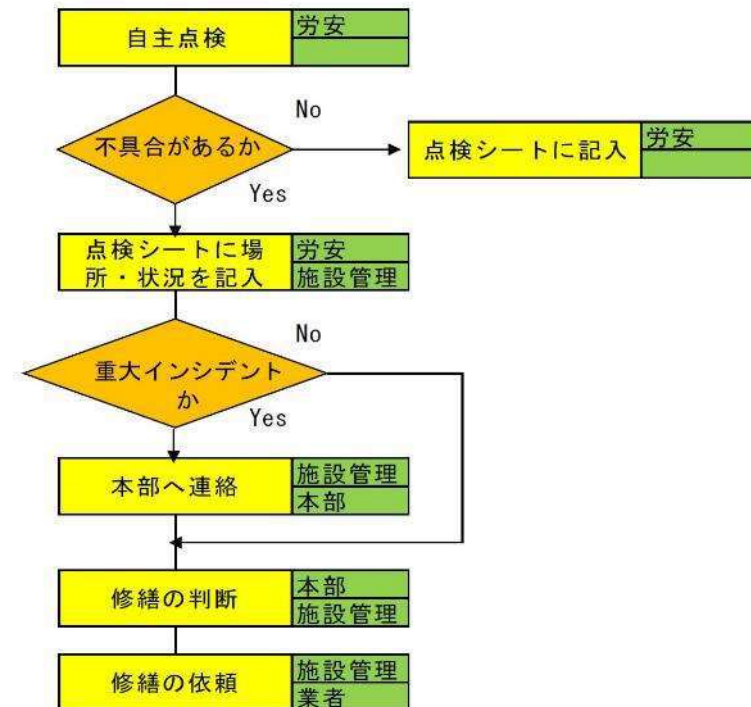
水道・電気・ガスの請求書を請求担当者に見せてもらう。前月（前回）と比べて著しく増加していた場合は施設管理部門に照会を行う。

水道

- 漏水の有無を確認する。
- 目視で確認できない場合、なるべくサービスに影響の少ない時間帯に系統の蛇口を全部閉めて水道メーターの動きを確認する。
- 各設備の専門業者に連絡する。

水道・下水道使用量等のお知らせ		東京都水道局	
水道 太郎 様		水道 太郎 様	
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1		〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	
303室		303室	
基本料金 20円		基本料金 20円	
使用料 平成29年 4月～平成29年 5月分		使用料 平成29年 4月～平成29年 5月分	
今月使用量 3.6m ³		今月使用量 3.6m ³	
前月使用量 1m ³		前月使用量 1m ³	
今月使用量 3.6m ³ (1m ³ あたり26円)		今月使用量 3.6m ³ (1m ³ あたり26円)	
使用料金 9,060円		使用料金 9,060円	
基本料金 2,340円		基本料金 2,340円	
従量料金 6,040円		従量料金 6,040円	
消費税等 670円		消費税等 670円	
今回料金 18,110円		今回料金 18,110円	
口座振替予定額 18,026円		口座振替予定額 18,026円	
口座振替予定日 5月18日		口座振替予定日 5月18日	

※自主点検（労安）フロー図



今後のBCP活動は、

- ①病院熱中症死・関空・北海道地震などを受けて、BCPを再周知
 - 1) 現在のBCPでの決まり事を再周知する→例:いつでも満タン
 - 2) 停電想定・対応の強化: 自家発電力強化、フロア冷風・暖房機の備えや手配手順
 - 3) 備蓄品の充実: 嚥下機能配慮食、間食類やメニューの充実
 - 4) トイレ・清拭対策用品充実
 - 5) 毛布、タオル、Tシャツ・短パン等非常用下着兼衣服等
 - 6) MCSなどに依る家族との連絡網の充実これらを踏まえた、法人内想定訓練の実施



- ②昨今の自然災害の経験を共同訓練に取り入れ
 - ・町内の全電源の供給が停止(ブラックアウト)
 - ・超大型台風の暴風による施設の破損被害
 - ・大雨による冠水
 - ・道路の液状化等による交通網の寸断 etc

